

佐藤 惠里
藤 文
越 藏
田 修
和 編

江戸板狂言本

四

古典文庫

佐藤 文恵 里
藤越 蔵 編
和田 修

戸板和玄存

四

古典文庫

平成六年九月二〇日印刷発行

非売品

江戸板狂言本

四

編者

佐藤 惠里
鳥越 文蔵
和田 修

発行者
吉田 幸一

印刷者
白橋印刷所

発行所

114

東京都北区西ヶ原
三ノ三四ノ一二

古典文庫

電話 〇三(三九一〇)二七一七
振替口座東京〇〇一九〇九一四五九七番

目次

凡例	三
一、薄雪今桜川（宝永三年二の替 山村座）	五
二、大屋形世継曾我（宝永三年五月 市村座）	四七
三、三国伝来仏（宝永三年七月 山村座）	六七
四、傾情顧本尊（宝永四年三月 山村座）	一四二
五、清原二見桜（宝永四年盆以前 市村座）	一八一
六、愛兄隅田川（宝永五年正月 市村座）	一三六
解説	一五五

凡例

一、『江戸板狂言本』の第四冊として、未翻刻現存本十五篇のうち、東京芸術大学附属図書館蔵『薄雪今桜川』『大屋形世継曾我』『三国伝来仏』『清原二見桜』『愛兄隅田川』、国立国会図書館蔵『傾情願本尊』の六篇を収めた。

一、翻刻にあたっては、次の基準に従った。

- (一) 文字は通行の字体を採用した。
- (二) 挿絵中の文字は「」で示した。挿絵は見開き上段より下段左にかけて第一図、第二図と数えた。
- (三) 丁および行の移りは底本に従わなかった。丁の移りには丁付（漢数字）と実丁数（洋数字）を付記した。
- (四) 通読の便をはかって、場面転換の部分で改行を施し、また底本にない句切点の代わりに一字あけの空白を加えた。
- (五) 底本の誤字、誤刻、衍字、濁点の脱落など、文字遣いの不統一も、元の姿

を忠実に残すため補訂はしなかった。ただし、紛らわしいものには（マ）を傍記した。

(六) 難読不整の文字で文脈に引きつけて判読したものは、文字の肩に番号を付し、各作品末尾の校勘記に注記した。

(七) 底本の虫食い、破損などによる欠字は□または「」で埋め、推定できる場合は「」に入れて傍記した。

一、翻刻について立命館大学大学院生松澤正樹氏の助力を得た。厚く御礼申し上げます。

一、解説は書誌的なことに限り、簡略を旨とした。

一、本書の刊行について原本の披見と翻刻の許可を与えられた東京芸術大学附属図書館、国立国会図書館に謝意を表する。

佐藤 恵里
鳥越 文蔵
和田 修

一、
薄雪今桜川

東京芸術大学附属図書館蔵

山村

絵

うすゆきいまさくらがわ
薄雪今桜川
大あたり大狂言
五ばんつゞき

傾情 にうでう 入定 けいせい	一 念 龍 ねんのりやう ねんのとら 薄雪今桜川 うすゆきいまさくらかわ 大あたり大きやうげん 五 番 続	木挽町 ゑさうしや 三左衛門板
壺	梅 薫 嶋 台 瓶 むめハかほるしまだいのかめ 付りあんとのみぎやう書 これハかたきの たね	
式	桑 甘 沙 門 命 くわハあまししやもんのいのち 付りみどり子の丹前 これハわらひの たね	
参	花 紅 夫 婦 泪 はなハくれないふうふのなみだ 付りつうゑんハ ちやのみはなし これハしつとのたね	
四	樹 動 邪 姪 魂 しんじゆハうごくじやゐんのたましい 付り云入の小袖 これハ ほんもふのたね	
五	松 栄 神 徳 門 まつハさかふるしんとくのかど 付りおさまれる国 これハはんじやうの たね	

一 おきな

竹田源すけ

一 はま江みとり之助

市川くら五郎

一 高間源二郎

外山さが之助

一 小滝善六

もり岡虎之助

一 かんぬし織部

山科十郎兵衛

一 亀山ごんの守後室

小かん太郎次

一 風見吟左衛門

みや崎丹右衛門

一 石丸大ぜん

あら川善左衛門

一 かめ山国二郎

さるわか山左衛門

一 つね川柳之助

四のみや万次郎

一 近はま勘介

坂東又太郎

一 霜よのまへ

きし川皆之丞

一月岡藤太郎

鈴木平吉

一 にいくらたのも

はやま岡右衛門

一同弟かつら之助

市川喜世太

一 うすゆきごせん

おぎの八ゑ桐

一 つぼね

いおり伊左衛門

一 達山くん八

市川団十郎

一 いちさき

もり岡なにわ

一 たいこ持庄すけ

ふし田平蔵

一 上郎さらしな

山もとつま之丞

同 ちさと

もり岡入江

一 同 こもんど

やりて

ふし井政之丞
山もと勝之丞（以上上段）

一 けいせいよしの

みを木なにわ

やりて

きり山佐右衛門

一 恋つかもみち之介

袖をか小太郎

一 五郎松龍田之助

四のみや平介

一 杉山しのふ之助

四のみや団之丞

一 そのべのゑもん

生嶋新五郎

一 さくら子

山むら菊助

一 もく食一くう

山中平九郎

一 杉山しのふ之介

鈴木才三郎

一 あさかのまへ

鈴木平八

一片きり藤太夫

にる川伴蔵

一 かめ山国二郎女ぼう

四のみや小源次

一 後家まつかえ

沢むら小伝次

一 下人長八

早川伝五郎

一 やつこしの原孫左衛門

西むら弥平次

一 布引や嶋右衛門

中むら伝八郎

一 女ほうおせん

生しまくら之丞

一 まつかえ妹おきち

水木竹十郎

一 宇治のこうしやうじ

西こく兵すけ

一 大川みんふ左衛門

四のみや源八